

高齢者総合相談窓口です

「介護保険を利用したいな」
 「近所の人が虐待にあっているかも?!」
 「悪質な訪問販売や電話があった」「一人暮らしが不安」
 「地域で介護予防に取り組みたいけど
 どうすればいいの?」…etc



【お問い合わせ先】

広島市瀬野川・船越地域包括支援センター
 住所：安芸区中野三丁目9番5号
 TEL：082-893-1839
 FAX：082-893-1866
 MAIL：se.fu.chiiki3@jiraku.or.jp

たれゆえそう

皆さま、こんにちは。広島市瀬野川・船越地域包括支援センターです。
 初刊行から1年経ち、第3号発行です!!暑い夏が終わり、季節はすっかり秋模様…
 移り行く季節の中、平成30年7月豪雨の爪跡も少しづつ薄れていますが、
 紙面では言い表せない状況であったことは、今も脳裏にやきついています。
 改めて、平成30年7月豪雨により、被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。
 豪雨災害後も各地で痛ましい災害が続き、連日のニュースに心休まる日がありません。
 どうにもできないことはありますが、復興というかたちで「どうにかできること」もあると信じ、
 当センターでも一つ一つやれることを模索していこうと思います。
 地域の皆さま、これからもご助力の程、よろしくお願い申し上げます。
 手始めといっちはナンですが…

脳トレコーナー!!

漢字と数字の脳トレです。

「?」のところに数字を入れてみましょう!!
 レベル1が解ければ、レベル2は解けるかも?!

難易度レベル1

- 1)宿+飯=2
ちょっとした世話になる
- 2)人+色=20
考えや好みは人それぞれ違っている
- 3)臓+腑=11
内臓、体の中すべて。心の中。
- 4)転+起=15
何度失敗してもくじけず立ち上がる
- 5)石+鳥=?
ひとつのことで、ふたつの利益を得る

難易度レベル2

- 1)月×舟=3
立場が違えば種々の意味に解釈されることの例え
- 2)張×弛=1
厳格さと寛大さを交互に示すこと
- 3)通×達=32
交通・通信が広く通じていること
- 4)風×雨=50
世の中が平和で穏やかな状態である事のたとえ
- 5)桃×季=?
物事を成し遂げるにはそれなりの時間が必要であること



私たちが、お出迎えします♪

脳トレ答え：レベル1「3」、レベル2「12」

防災グッズ

- ☆貴重品類
現金
公衆電話用10円玉
預金通帳・印鑑
保険証・免許証
- ☆避難用具
懐中電灯
携帯ラジオ
予備の乾電池
ヘルメット



- ☆生活用品
手袋
毛布
缶切り
ライター・マッチ
- ☆救急用具
救急箱
処方箋の控え
持病の薬
生理用品

- ☆非常食品
乾パン・缶詰
栄養補助食品
飴・チョコ
飲料水
- ☆衣料品
下着・靴下
長袖・長ズボン
防寒ジャケット
雨具



7月の豪雨で地震の少ない広島でも防災グッズに対する意識が高まっています。しかし、どんな防災グッズを備えておけばよいのでしょうか。一般的な基本の防災グッズを表にしてみました。すべて持っていくとなると…まるで家出人です。自分に必要なものを厳選し、急場に持ち出せる範囲内のカバンを置いておくことが大切です。

ちよつと一息、豆知識



私、遠藤がご紹介します♪



秋を感じるころになると、巷では「おでん」ののぼり旗を見かけるようになります。このおでんの歴史は意外と古く、1000年前、室町時代へとさかのぼります。ルーツ・語源は「田楽」です。当時、宮中等に仕える人達は、田楽に「お」をつけて丁寧にし、楽を略して「おでん」と言っていたそうです。そして、江戸時代後期頃から、醤油の醸造が盛んになり、田楽スタイルから煮込みおでんへと変わっていったと言われています。そして、私たちの食卓に並ぶおでんは、関東大震災（大正12年）の炊き出しメニューとして、関西の料理人が振舞ったことが始まりだそうです。今では「ご当地おでん」なるものまで出回る程、国民的に愛されている料理、外出しやすいこの季節、「ご当地おでん巡り旅行」なんてのもオツなのかもしれません♪

情報をできるだけ知っておきたい。携帯ラジオと乾電池は持っていこう。



持病の血圧の薬はいると思う。処方箋の控えと財布があれば数日はなんとかなるかな。

秋号トピックス：担当圏域での活動内容

中野地区

中野地区には、登録者の見守り活動を行っている中野近隣ネットワークがあります。このたびの豪雨災害の際には地域で声を掛け合い、協力して避難される等の早急な対応や復旧作業する姿を見るにつけ、中野の力強い地域力を感じました。当センターでは、中野近隣ネットワークの登録者のご自宅を訪問し被災状況の確認や地域や関係機関と連携して支援の調整に取り組みました。これからも、中野近隣ネットワークが力強く機能している中野地区に、少しでも力になれるよう努力していきたいと思ひます。

畑賀地区

今夏の豪雨では甚大な被害にあった畑賀地区ですが、畑賀あんしんネットワークにより、災害発生時の避難活動や地域住民の安否確認、被災状況等の確認が迅速に行われました。自然の驚異を見せ付けられた後に、あんなにも早急にネットワークが機能する地区は他に例をみません。これからも、畑賀地区の方々から学びを得つつ、畑賀あんしんネットワークが機能する一助となれるよう取り組みに関わっていこうと思ひます。

船越地区

毎年5月頃から各町内会で、地域の見守り活動の状況や個別の懸案事項などについて話し合われる「地域調整会議」が行われています。今年は当センターも全ての町内会の会議に同席させていただき、地域の皆さんの自助・共助の意識をもって行なわれている見守り活動の内容を理解することができ、ネットワークの基本を振り返る貴重かつ重要な時間となりました。これからも、地域のみなさんとともに、活動を盛り上げていければと思ひます。